

ミニレター
あぜみち通信

* * * * *

平成20年3月1日

87号

編集・発行：愛知県農業会議

都道府県農業会議事務局長会議

平成20年度の事業計画案等を検討するための都道府県農業会議事務局長会議が、2月1日参議院議員会館で開催されました。

平成20年度の全国農業会議所事業計画・予算については概ね前年どおりですが、外国人研修受入適正化対策を新規に実施することとなりました。

新たな「組織改革プログラム」「新・農地と担い手を守り活かす運動」については、検証・評価・改善と公表に着手することが確認されました。

農地政策見直し・地方分権・規制緩和をめぐる動きと対応については、農地政策の見直しは一休みの感があるものの、5月の全国農委会長大会で政策提案を行うこと、遊休農地解消の取組が低調との指摘に対しては、系統組織の存立に関わる問題としてしっかり議論し要請活動を行うことが確認されました。

全国農業委員会会長大会については、5月30日に開催され、本県からは75名の参加が想定されています。

また、農業者年金の加入推進を一層進めること、全国農業新聞の新たな普及拡大運動を、「全国農業新聞で結ぶ信頼の絆・3カ年運動」として平成20～22年の3年間展開する方針についても確認されました。

農地基本台帳・農地地図情報活用検討会を開催

愛知県農業会議では愛知県農業委員会事務研究会との共催により、2月13日白壁庁舎において農地基本台帳及び農地地図情報システム活用検討会を開催しました。

検討会では、「本庁と各区役所間を結んだクライアントサーバー型ネットワークシステム(WAN連携)構築への取り組み」について、名古屋市農業委員会及び株式会社両備システムズ、「GIS連動オプションシステムを導入した農地基本台帳システムと農地地図情報システムの有機的な活用」について、幸田町農業委員会及びソリマチ株式会社、「農地基本台帳及び農地地図情報の電子化の推進」について、安城市農業委員会及び株式会社カナエジオマチックスから事例発表の後、事例発表を踏まえた全体討議を行いました。

農地基本台帳と農地地図情報との連動、個人情報の取り扱い、農地パトロールの履歴管理などについて、活発な質疑応答と意見交換が行われました。

平成20年度農地基本台帳及び農地地図情報の電子化関係予算の概要及び担い手農地集積高度化促進事業等の推進について農政課から説明して、農地基本台帳の電子化に積極的に取り組まれるようお願いしました。

常任会議員会議（１月）の審議状況

農地法に係る知事諮問案件等を審議するための常任会議員会議が２月１５日開催され、農地法第４条に基づく転用事案18件11,986平方㌦、及び第５条に基づく転用事案219件162,352平方㌦について審議し、原案通りで了とすることが議決されました。

会議終了後、第２０回農業委員統一選挙に当たっての、都道府県農業会議会長会議の申し合わせ決議（農業委員会系統組織の役割等の普及浸透、女性・青年・認定農業者等の農業委員への登用促進）について報告し、各市町村長及び市町村議会議長への働きかけを各農業委員会と農業会議が連携して行うことが確認されました。

愛知県農山漁村男女共同参画推進大会が開催されました

愛知県の主催（協賛：ＪＡあいち女性協議会、愛知県漁協女性部連絡協議会、農村輝きネット・あいち、愛知県農村生活アドバイザー協会）による平成１９年度愛知県農山漁村男女共同参画推進大会が、２月１５日ウィルあいちにおいて開催されました。

主催者挨拶に立った永田清愛知県農林水産部長は、「農林水産業や農山漁村は担い手の高齢化や耕作放棄地の増加などさまざまな課題を抱えておりますが、これを解決していくうえで、女性の活躍に大きな期待が寄せられています。」と述べられた上で、「今夏の農業委員統一選挙においては、さらに多くの女性が農業委員になられますよう期待しております。」と激励をされました。

大会では、岐阜県農業会議常任議員（中津川市農業委員）の後藤展子氏から、家族や地域の人々とともに農業経営の近代化や加工販売を通じた地域の活性化に取り組む上での「家族経営協定」の効用などについての講演や、「農とくらしの研究発表大会２００８」で愛知県知事賞を受賞された、農村輝きネット・豊田加茂の大野瀬（代表：大石志奈子氏）の事例発表の後、「経営への参画、家族経営協定の締結、地域の方針決定の場への参画、男女連携しての住みやすい農山漁村の構築」などに取り組む旨の大会宣言を確認して終了しました。

愛知県の平成２０年度予算案が公表されました

愛知県は平成２０年度の一般会計当初予算案を発表しました。

総額２兆２千５百億余円の予算案は、「県民の安心・安全の確保、地域活力の向上を目指す施策を柱」に据え、高齢化の進展に対応する介護費・子どもや障害者への医療費助成を拡充するとともに、投資的経費については、県民生活に密着した社会資本整備などを中心に前年度と同水準が維持されました。

農業関係では、前年対比９８．１％の５７３億６千２百万円が計上され、食品表示の適正化（４百万円）、農産物の輸出促進（３．７百万円）、野生鳥獣の被害防止対策（２３．５百万円）、原油・飼料価格高騰対策（７９百万円）、バイオマス資源の利用促進（８．６百万円）、花き市場の整備（１８８百万円）、多面的機能を活かすための地域ぐるみでの「ため池」保全の推進（２．３百万円）などを進めることとされました。

また、食育の推進には他の部局とも連携して総額８億８百万円を充てることとされています。

新たに「あいち森と緑づくり税」を財源として、森林や身近な緑を守り育てるため、あいち森と緑づくり推進事業費（46.5百万円）が計上されました。

この予算案は、2月19日開催の定例2月県議会に提案され、27日の代表質問を皮切りに審議が行われています。

愛知県経営構造対策推進協議会を開催

平成19年度第2回の愛知県経営構造対策推進協議会を、3月20日白壁庁舎において開催しました。

農業会議の事務局から15地区54施設に対する経営確立指導事業や「活」の発行を始めとする情報提供事業、優良事例の調査などの事業実績見込みを報告し了承されるとともに、県農業振興課から経営構造対策の実施状況及び平成19年度における事業の成果について説明がありました。

平成20年度においては、「担い手育成緊急地域」として蒲郡地区が新規地区として予定されており、これに対する支援などについて協議を行いました。

地域担い手育成総合支援協議会担当者会議を開催

愛知県担い手育成総合支援協議会では、平成19年度第2回目のこの会議を2月21日愛知県西三河総合庁舎で開催しました。

当日は地域協議会の担当者を始めとして関係機関の指導者など約60名の出席があり、県協議会の平成20年度の事業計画の素案をお示しするとともに、東海農政局担い手育成課から平成20年度の新規事業を中心に予算概要と品目横断的経営安定対策の見直しの概要について説明を受け、出席者から活発な質疑が展開され関心の深さが伺われました。

全国結婚研究会議が開催されました

(財)日本青年館(主管:結婚相談所)の主催による全国結婚研究会議「どうなる結婚の未来～若者主催の出会い事業の意味と効果～」が2月23日から25日の3日間日本青年館国際ホールで開催され、全国の27都道府県から関係者201人(本県からは愛花協会員の相談員等12人)が参加しました。

会議の内容は、Part 1では公開結婚相談会～わたしの希望と課題～と題して独身男女各2人によるパネルディスカッション(アドバイザー:相沢正人、白河桃子)が行われ、将来に不安を持つ若者が結婚できないでいるので、若者が自ら自信を持つようになるか、自信を持つように支援することが必要であると纏められました。(内面の充実が必須であるが、まずは外見から、そしてコミュニケーションスキルを高める。一方、生活の安定も必要。)

Part 2では「地図でみる日本の結婚」(木下禮子氏)及び「結婚の未来を予想する」(山田昌弘東京学芸大教授)の2題の講演の後、結婚支援事業のあり方を考えるワークショップが開かれ、その1では、若者の事業支援の意味と問題(事例報告:山形県庄内町商工会青年部、長崎県青年団連合会、宮崎県青年団協議会)、その2では若者事情と結婚支援への提言(木本喜美子一橋大教授、宮本みち子放送大教授、長須正明東京聖栄大講師、上野景三佐賀大教授)が行われました。今後まだ、結婚したいが、できない未婚者が増加する傾向にあり、若者は「自然に」を望んで

いるが、結婚活動とそのサポート事業（出会う機会づくり、出会って選ばれる魅力づくり）の推進が必要になるようです。

Part 3では袋井泰江氏（㈱サービスデザイン研究所代表取締役）による結婚相談員「タイプテスト（自己診断）」、西本真司氏（岡山県商工会議所青年部常任理事）、前田修児氏（川根本町企画環境課主幹）、白河桃子氏（ジャーナリスト）、原口博光氏（NPO法人日本デザインカウンセラー協会理事長）による新・結婚支援仕掛け人座談会が行われました。

各地方自治体でも少子化対策の一環として結婚支援事業の取り組みが始っていますが、「結婚」は個人の問題から地域・社会の問題として関係機関の支援が必要な時代へ移ってきているようです。

全国優良担い手表彰・発表会が開催されました

全国担い手育成総合支援協議会主催の全国優良担い手表彰・発表会が、2月25日東京都台東区の浅草ビューホテルで開催されました。全体では、個人及び法人の土地利用型部門、個人及び法人の施設等部門並びに集落営農部門合わせて56点の参加があり、5部門の最優秀事例には農林水産大臣賞が授与されました。

本県からは豊田市の有限会社はっぴー農産が、法人土地利用型部門においてこの表彰行事に参加され、全国担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞されました。お慶びを申し上げます。

㈲はっぴー農産は、「三者（スタッフ・消費者・地域）がはっぴーになる経営（スタッフがやりがいを感じる、顧客が増加し支援者となってくれる、雇用の場の確保や遊休農地解消で地域に貢献し農業を通じた交流・体験の場を提供）」をモットーに、水稻（28.5ha）小麦（17.2ha）果樹（桃0.8ha）の経営を展開しておられ、平成10年に法人化し、後継者の就農を契機に家族経営協定を締結して家族の役割分担を明確にするとともに、エコファーマーの認定を受け、化学肥料、農薬の低減に努めておられ、その活動の様子は独自のホームページで紹介されています。〔<http://www.happy-farm.jp/>〕

なお、3月5日に千種区のメルパルクで開催する認定農業者等交流会において、取り組み内容を発表して頂きます。

豊橋市が184名に農業経営改善計画を認定

豊橋市の認定農業者認定式が、2月18日豊橋市役所講堂で挙行されました。

あいさつに立った早川勝市長は、「昨年は、認定農業者連絡会の前会長富田養鶏場が農林水産祭で日本農林漁業振興会長賞を受賞され喜ばしい限り。原油高など農業を巡る情勢は厳しいが、奮闘して豊橋の農業の活性化に努められたい。」と参加者を激励され、続いて昨年度の授与式以降の計画認定者184名（内、再認定27名）に認定書が授与されました。

来賓祝辞で中島晋農業委員会会長は、「本日認定を受けた方は、農業経営者のトップランナー。奮闘して個別経営の合理化と日本農業の活性化に努める責務を負った。経営を巡る環境は大変だが、一致団結して訴えるべきは訴えて、豊橋市農業のリーダーとなって頂きたい。」と認定農業者に語りかけられました。

この後、豊橋市認定農業者連絡会の中村進会長から、豊橋市に対しては償却資産

税の軽減や認定農業者に対する金融支援など、愛知県に対しては野菜経営認定農業者への支援や農業機械導入基準の見直し、JAに対してブランド化の取り組みの拡充を求める要望書を早川市長始め関係者に手渡されました。

連絡会への加入勧誘を行った兵藤吉之副会長は、「連絡会のメリットは加入と一緒に現状打破をする中にある。」と語りかけておられました。

魅力ある男性ブラッシュアップ講座を開催します

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会では、農業青年の結婚支援の一環として、魅力ある男性ブラッシュアップ講座を開催しており、2月22日の田原会場では、田原市始め県内各地から独身男性や関係者45名が参加して、ひらきプランニング(株)平野美保取締役から「女性にアピールする話し方」と題して講演を頂きました。

平野美保取締役はマスコミ関係でのレポーター、パーソナリティ、司会などを経てから、現在、企業等のビジネスナレーションや行政機関等のコミュニケーション講座の講師をされる等、話し方のプロとして活躍されておられます。

男性、女性各々の望ましい特性ベスト10を最初に示された後、よりよく話すためのエクササイズとして、よりよく「きく」ことの重要性ときき方、よりよく「話す」ことの話し方を実演で示され、参加者もきき方と話し方を実習しました。

参加者のアンケート調査では、「講師が実演で示されたのでよく理解できた。今後に役立てたい。もっと回数を増やして。」などと大変好評でした。

引き続き、豊橋会場でも次のとおり開催します。若干の席の余裕が有りますので、頑張っておられる農業青年、結婚相談員、愛花協会事務局の皆さんなど多数のご参加をお待ちしています。

開催日時：平成20年3月7日(金) 13:30
開催場所：ホテル日航豊橋 桃(豊橋市藤沢町141)
内 容：講演「ふれあいの場の見だしなみとマナー」
実演「女性と会話するときのマナー」
講師：NPO 法人花婿学校 代表 大橋清朗 氏

担い手アクションサポート事業地域活動推進研修会を開催します

愛知県農業会議の平成19年度第2回総会については、3月27日10時30分から中区の水産会館で開催しますが、当日午後には担い手アクションサポート事業の一環として、地域活動推進研修会を開催します。

研修会では、青森大学教授の見城美枝子氏から「世界の中の日本の農業」と題して講演を頂く他、名古屋国税局の担当官から「相続税納税猶予制度の現状と問題点等について」ご説明を頂く予定です。

多数のご参加をお待ちします。

愛花協だより(知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈)

名古屋市 佐藤哲平さん・百合さん(2月9日挙式)
ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

東海農政局幹部と稲作経営者会議役員との意見交換会が開催されました

平成20年度の米の生産調整を確実に実施することを期して、現場のナマの声が聴きたいとの東海農政局からの呼びかけにより、2月28日白壁庁舎において意見交換会が持たれました。

東海農政局からは岩元明久局長を始め次長及び関係の部課長などが、稲作経営者会議からは小川嘉吉会長始め10名が出席され、事務局及び県農林水産部関係者がオブザーバーとして参加しましたが、少ない紙幅では表せないほどの議論があり、語り尽くせない部分は場所を移した懇談の場でも熱心な意見交換が行われました。

今後の主な行事予定

- 3月 3日 女性農業委員特別研修（中区・能楽堂）
- 3月 4日 市町村農業委員会事務局長会議（中区・水産会館）
- 3月 5日 認定農業者等交流会（千種区・メルパルク）
- 3月 6日 女性農業委員シンポジウム（東京都）
- 3月 7日 愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会男性教室（豊橋市）
- 3月10日 東海ブロック農業会議事務局長会議（三重県）
- 3月11日 全国農業会議所総会（東京都）
- 3月12日 愛知県農業会議賛助団体会議（白壁庁舎）
- 3月12日 愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会幹事会（白壁庁舎）
- 3月13日 全国農業新聞普及推進重点農業委員会担当者会議（中村区）
- 3月14日 集落営農組織意見交換会（白壁庁舎）
- 3月17日 耕作放棄地不在村地主対策研さん会（岡崎市）
- 3月18日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 3月18日 支部長会議（白壁庁舎）
- 3月18日 農業委員会活動評価検討会（白壁庁舎）
- 3月19日 愛知県担い手育成総合支援協議会幹事会（白壁庁舎）
- 3月21日 あいち水土里情報協議会（西区）
- 3月25日 愛知県担い手育成総合支援協議会総会（白壁庁舎）
- 3月27日 愛知県農業会議平成19年度第2回総会（中区・水産会館）
- 3月27日 担い手アクションプラン事業地域活動推進研修会（中区・水産会館）

あとがき

国府宮のはだか祭が終わってからの方が肌寒い日が続きますが、まもなく「啓蟄」。方々で新しい年度に向けての取り組みが進んでいます。

愛知県でも、喫緊の課題である原油・飼料価格高騰対策への対応の他、農産物の輸出促進やバイオマス資源の利用促進、花き市場の整備など将来を見越した取り組みを進めるための予算が審議されています。

農業委員会系統組織には、遊休農地の発生防止・解消や農地の有効利用、担い手の確保・育成にこれまで以上に取り組んで行くことが求めれており、愛知県農業会議の新年度の事業計画等についても、市町村農業委員会事務局長会議を始め様々な会議を通じてご意見を伺い組み立てて行くこととしています。

皆さんの積極的なご意見とご協力をお願いします。